### 1 パッキングレングスとは

#### 1.1 当初の定義

パッキングレングスは、以下のように定義される。

$$p = \frac{M}{\langle R^2 \rangle_0 \rho N_a} \tag{1}$$

ここで、M はポリマー鎖の分子量、 $\langle R^2 
angle_0$  はシータ状態での平均二乗末端間距離、ho は密度、  $N_a$  はアボガドロ数です。なお、この定義の意味は一本のポリマー鎖が占有する体積  $rac{M}{
ho N_a}$  を  $\langle R^2 \rangle_0$  で除したものとされているが、物理的な直感に結びつけるのは困難です。

#### 1.2 Fetters らのアプローチ

このpというパラメタの意味について考えてみよう。

式 (1) は、Flory の特性比  $C_{\infty}$ 

$$p = \frac{M}{\langle R^2 \rangle_0 \rho N_a}$$

$$= \frac{M}{C_\infty n b^2 \rho N_a}$$

$$= \frac{m_b}{C_\infty b^2 \rho N_a}$$
(2)
(3)

$$=\frac{M}{C_{\sim}nb^2\rho N_a}\tag{3}$$

$$=\frac{m_b}{C_{\infty}b^2\rho N_a}\tag{4}$$

ここで、ポリマー鎖を形成するモノマー1個の体積 $V_b$ を以下のように見積もると、

$$V_b = \frac{n}{\rho N_a} \tag{5}$$

f(x)

 - 試験用
 - 試験用

 - 作成
 - 作成

**図1** ffff

 $R^2$ 

## 日本語

# 大きさ違い

ポリマー鎖中の繰り返しユニットの直径に対応すると考えられる。ポリマー鎖中の繰り返しユニットの直径に対応すると考えられる。

この行は明朝体の細字指定。葛飾,蓬莱,煎餅 この行は明朝体の中字指定。葛飾,蓬莱,煎餅 この行は明朝体の太字指定。葛飾,蓬莱,煎餅 この行はゴシック体の中字指定。葛飾,蓬莱,煎餅 この行はゴシック体の太字指定。葛飾,蓬莱,煎餅 この行はゴシック体の太字指定。葛飾,蓬莱,煎餅 この行はゴシック体の特太指定。葛飾,蓬莱,煎餅 この行は丸ゴシック体の指定。葛飾,蓬莱,煎餅